



〔特集〕 東日本大震災から10年。  
これまでの地震から  
必要な備えを考える。



## すまいとくらし 三井で みつけて

三井不動産グループ  
MITSUI FUDOSAN GROUP

## 三井のリハウス

生活と共に、住まいは変わる

**W**  
提案  
売る選択 & 貸す選択

ダブルW 「売る」「貸す」どっちがいいのだろう？  
価格提案 いたします！  
売却 の場合の収入・支出は？ 賃貸 の場合の収入・支出は？

再契約者様特典 & 三井不動産グループ物件売却特典 | 買主様・売主様特典 |

### 2度目のお取引特典

三井のリハウスの仲介で、下記のお取引をされた方にプレゼントいたします。

#### 再契約者様特典

三井のリハウスで物件を売却または購入し、今回再度物件を売却または購入した場合

ご売却 **10万円** or 仲介手数料  $\times 1/10$   
ご購入 **5万円**

※いずれか低い方の金額となります。※3回目以降のご契約も適用となります。

#### 三井不動産グループ物件売却特典

下記対象物件を所有し、今回その物件を売却した場合

ご売却 **10万円** or 仲介手数料  $\times 1/10$

※いずれか低い方の金額となります。※対象物件:三井不動産および三井不動産レジデンシャル分譲物件、三井不動産リアルティ(旧三井不動産販売)グループおよび三井不動産レジデンシャル販売代理物件

#### 【ご注意事項】

●対象は個人のお客様に限ります。●プレゼントの進呈は、規定の仲介手数料をお支払いいただいたのち、担当リハウス店よりご本人様名義の口座へ振込みとなります。●「再契約者様特典」と「三井不動産グループ物件売却特典」のいずれも該当する方は、どちらか一方の適用となります。●お買替でご売却とご購入を当社にてご成約いただいたお客様も適用となります。(特典の対象は、後のご契約となります。)  
●三井のリハウスの他の制度(謝礼等の進呈)の対象となっている場合は、原則、併用できませんのでご容赦ください。●売買契約締結時までにお申し出いただくことが条件となります。●前回の売買契約書(写)をお持ちください。●前回契約者ご本人様および生計を一にするご家族様(2親等以内)・前回契約者ご本人様から相続により取得した不動産をご売却されるご家族様も適用となります。●制度内容の変更・廃止の際はご容赦ください。●その他弊社の規定によりしますので、詳しくは、お近くのリハウス店へお問い合わせください。

三井不動産リアルティ東北  
MITSUI FUDOSAN REALTY TOHOKU

宮城県知事(7)3998号 (一社)不動産流通経営協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

東日本大震災から10年。  
これまでの地震から必要な備えを考える。



未曾有の災害となった東日本大震災から10年。今年に入り、宮城県沖ではマグニチュード6以上の地震が2回も観測されました(令和3年8月31日現在)。災害を防ぐことはできませんが、防災・減災はできます。下記データの通り、大災害が起こった場合、支援物資が届くのはありがたい3日後。この3日間、より安心・安全に過ごせるよう、この機会に改めて、防災を見直してみませんか？

マンションを管理するサポーターとして、防災における備えはできる限り万全にしておきたいものです。東日本大震災当時、保存水などの備蓄を用意できる防災倉庫、震災直後のタイムロスをなくすための目につく場所に設置した防災パネル、避難等に不安がある方の安否確認名簿を事前に用意するなど、さまざまな対策をしていたことで実際に役立った好事例が多くありました。改めて、マンション内の確認・点検も行ってはいかがでしょうか。

もう一つ防災につながる点、それはマンション内における住民同士のコミュニティ。日頃からのコミュニティ形成によって、災害時での素早い対応や助け合いの心が生まれます。さらには日常の防犯の強化も期待できます。普段からマンションの通路やエントランスで挨拶するといった、小さな心掛け一つがいざというときに役立ちます。

備えあれば憂いなしという言葉がある通り、各ご家庭での非常用持ち出し袋の準備や住民間でのコミュニケーションなど、常日頃からの準備が大切です。安心して暮らせるようにマンション一体となって対策していきましょう。

東日本大震災

(2011年)

マグニチュード9.0  
最大震度7(宮城県栗原市)  
■支援物資が届くまでの目安  
地震発生からほしい3日後  
■最大避難所避難者数  
46万8600人  
■特徴  
大津波や地盤沈下、液状化現象により公共インフラも破滅的なダメージを受け、物資の輸送にも影響。地震発生翌日には支援物資が届く場所もありましたが、地域によっては3~5日後の到着となったところも。

熊本地震

(2016年)

マグニチュード6.5  
最大震度7(熊本県益城町)  
■支援物資が届くまでの目安  
地震発生からほしい3日後  
■最大避難所避難者数  
18万3882人  
■特徴  
道路の分断や自治体の混乱などで、3日経っても支援物資が到着しないところも。日ごろから自宅に備蓄しておくのが大切です。

大阪北部地震

(2018年)

マグニチュード6.1  
最大震度6弱  
(大阪府大阪市北区、高槻市など)  
■支援物資が届くまでの目安  
地震発生からほしい3日後  
■最大避難所避難者数  
2,375人  
■特徴  
地震発生から30分後の時点で大阪府内約17万2500戸、兵庫県内約6900戸が停電。さらに上水道管の破裂による断水や約11万戸でガス供給がストップするなど、ライフラインの断絶が起きました。

自分を守る 家族を助ける 防災の備えチェックリスト

非常用持ち出し袋

- 水
- 食品  
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど ※最低3日分の用意)
- 防災用ヘルメット・防災ずきん
- 衣服・下着
- レインウェア
- 紐なしの靴
- 懐中電灯(※手動充電式が◎)
- 携帯ラジオ(※手動充電式が◎)
- 予備電池・携帯充電器
- マッチ・ろうそく
- 救急用品  
(絆創膏、包帯、消毒液、常備薬など)
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- 軍手
- 洗面用具
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- ペン・ノート



感染症対策にも有効!

- マスク
- 石けん・ハンドソープ
- 体温計
- 手指消毒用アルコール
- ウェットティッシュ



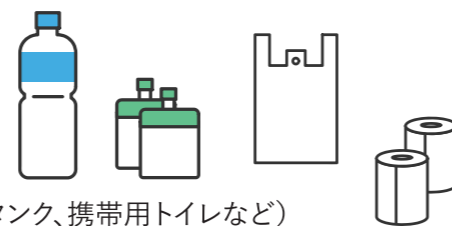
一緒に持ち出そう!

- 貴重品  
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)



備蓄品

- 飲料や水(最低3日分、できれば1週間分)×家族の人数  
(保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら保存する習慣にすれば、常に食料の備蓄が可能!)
- 生活用品(例えばティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレなど)



他にも、子どもや高齢者がいるご家庭に必要なもの、女性の生理用品などもあります。  
ご家庭にあった持ち出し品を備えましょう!